

9

No.629
SEP.2023

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<https://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



(株)美味いるプラス代表取締役 瀧本黎子氏



茨城経協

CONTENTS

- 01 トップインタビューVol.51
「しなやかな発想で挑む」
(株)美味いるプラス代表取締役 瀧本黎子氏
- 07 茨城キリスト教大学寄付講座
①「人生、考え方が大切」
(株)三栄製作所代表取締役会長 南雲京子氏
②「JX金属株式会社について」
JX金属(株)執行役員日立事業所長 相場玲宏氏
- 09 委員会報告 経営教育委員会/青年経営研究会
- 11 支部だより 常陸・那珂地区支部/水戸地区支部
土浦・石岡・つくば地区支部/鹿行地区支部
- 14 士業の広場②⑩
「地域の経営者と共に…」
<坂入社会保険労務士事務所所長 坂入浩行氏>
- 15 偏屈爺の甘辛放談②⑥
「子供の自殺、過去最多を憂う=生き方の多様性示せ」
<茨城新聞社・元論説委員長 小沼平氏>
- 16 <寄稿>「24卒向け内定式および25卒学生の夏季休暇の過ごし方」
<(株)マイナビ茨城支社支社長 木村純弥氏>
- 17 NPO情報 Vol.273<茨城NPOセンター・commons代表理事 横田能洋氏>
- 18 令和5年度最低賃金審議会答申
- 19 茨城県労働委員会からのお知らせ

経営者協会ホームページ
<https://www.ikk.or.jp/>

茨城経協



(株)美味いるプラス 代表取締役

瀧本 黎子 氏

聞き手:ケイツーマネジメント代表 葛田一雄氏



会社概要

- 所在地: 水戸市千波町 759-1
(大竹工場) 鉾田市大竹 489-1
- 資本金: 3,000 万円
- 事業内容: 食料品の製造・販売
- ホームページ: <http://umairu-plus.jp/>

しなやかな発想で挑む

使命は生命を守り、健康を保つ

1
人が生きていく上で不可欠なことは食事です。私が『美味いるプラス』を設立したのは2009年です。設立の目的は、主人が院長、私が看護管理者として携わっている医療法人真成会との連携による“医食同源”です。

それ以前は1999年に(有)真成会にらいかないを設立し、事業の一部として食事の提供を行っていました。2000年に介護保険がスタートしました。

後に合併して鉾田市になる大洋村はバブル期に別荘地として開発されました。50～60代のリタイアされた方たちが別荘を買って、移住して

きました。若いうちは良かったのですが、80代、90代になると、皆さん足は不自由になるし、運転はできない、ご飯は作れないです。奥さんを亡くされて、ご飯がどうにもならない、なんとかならないかと院長から頼まれました。やがて、数が増えて、何百食となりました。本格的に組織立ててやらなくてはいけないというのが発端です。

(株)美味いるプラスを設立し、20人のスタッフでスタートしました。しばらくは、土日祝祭日の配達はスタッフの休日の問題もあり行っていませんでしたが、地域包括支援センターのスタッフや社会福祉課のスタッフ、

利用者ご本人、遠くに離れているご家族、あらゆる人たちのお休み、あるいは盆暮れの食事の調達の苦労を目の当たりにし、相談の件数も日に日に増えてくるのを見て、365日、年中無休の食事作りと配達を決心しました。お年寄りの方たちが寂しい思いをしないように『一人用の年越しそばとお節』も開発し提供を開始しました。口に出した以上、後に引けないという社長とスタッフの強い思いで、商品の名前を『命弁(ぬちべん)』で登録商標しました。私の意向に賛同してくれたスタッフに感謝しています。

オフロードの向こう、フィールドに弁当を届ける

地域でお年寄りが増えたことから、『美味いるプラス』はケアマネージャーさんのかげ駆け込み寺になりました。独居で困っている方にお弁当を届けて下さい、ということです。食事を作り、地域の人たちへ配達することになりました。道なき道を行き、山また山を越えて、お弁当を届けに行きました。そうしたことを銚田市だけでなく茨城県や保健所の方々が知ってくださり、県の食育大会や官公庁の会議などでお弁当を提供させて頂くことになりました。更には、健康支援店をやらないかとか、だんだん食のグラウンドが広がっていきました。

(いばらき健康づくり支援店は、現在「いばらき美味しおスタイル・プレミアム店」として稼働しています。)

地域にJ1のサッカーチー

ム・鹿島アントラーズがあるのですが、繋がりができました。アントラーズビジネスクラブ加盟企業として、ホームでの試合のときは毎回お弁当を出しています。サッカーのオフシーズンには、外国からサッカー少年と国内のサッカー少年たちの練習試合や、夏休みのサマーキャンプなどがあります。そうすると朝ご飯作りです。真夜中から仕込みが始まりますから大変ですが、なるべく地元産の野菜を多く、一人一人のアレルギー対応など工夫し、勉強しながら応えています。

禁句は「やれません」

スタッフには最初から「やれません」というのは絶対に言わないようお願いしています。「やります」と言うことから考えようです。もちろん「やります」でも、大丈夫かなという気持ちもですが

「やろうね」という感じで、ドクターやナースから「できますか」「やれますか」と聞かれるので「できます」「やります」と答えます。

世界中から人がお越しになると、アレルギーの問題とかあれこれあるものです。宗教的な食材のタブーやアレルギー対応が課題です。また日本の食材には優れたものがあるって、例えばお豆腐、お米です。パンがだめだったらお米に変えることができます。そういうふうには色々工夫してきました。お客様に育てられています。

社名に込めた思い

美味いにスマイルをかけた命名です。美味いるプラスは、微に入り細に入り、ケアできることが強みです。お弁当が美味しいとか、配置が綺麗とか、食材の彩りがいいとか、こうしたことは当然です



が、それよりも、弁当を通して生命に向き合っている事実を社名にしました。

プラスというのは気心とか気働きでもあります。時間もちょっとは自分の時間を差し上げるとか、ちょっと我慢するとかです。一回だけでなく、もう行かないではなく、もう一回行こう、さらにもう一回行こうです。ご家族に電話を差し上げて連携するのもプラスです。だんだん会社も従業員も変革しています。惰性や慣性を超えることの大切さを実感しています。何故かと言えば地域社会の衰えを超えていくためです。

お弁当づくりの原点はケアの ところ

美味いるプラスでは、とにかく細かなところまで気を配ることにしています。その上で、さらにプラスの価値を求めていく。お客様に喜んで頂くために、満足して頂くために、ひたすら誠心誠意にお弁当を作ってきました。安全で、健康で、おいしさを追求することで社会に貢献してきました。高齢化社会ですからお年寄り向けの食事を作ることもあります。5つの味（苦味、酸味、滋味、甘味そして辛味）のバランス、青・朱・白・玄の四季の彩りを大切に

しています。冬は黒で「玄冬」、胎動であり、春へと輪廻します。

売り手よし・買い手よし・世間よし（三方よし）です。今では、常食の硬いものなど十種類くらいの弁当があります。

カレーライスづくりにも知恵を出し合っています。野菜と牛肉が沢山のカレーライスです。牛肉は石垣島で飼育してもらっている一頭買いです。ハヤシライスはしめじ入りで、とても美味しいです。カレーよりもハヤシライスが好きという方もいます。

思い起こすと、お弁当づくりの原点は患者さんのケアです。患者さんと一緒に台所に行って、患者さんが包丁を上手に使えるようにケアをしましょう、です。近未来は、すり潰し、飲み込むとか、食べるためにケアをしなければいけない時代がくることでしょう。すべての人のケアをするため一人ひとり個別的なケアをして、その方のQOL、生活の質を高めるために何ができるかが課題です。

一番難しいのは、こうしたことをスタッフと共有することです。看護管理者の行動は三現管理、現場に行く、現物を見る、現時点で解決するという行動です。私はできる限り現場に入り込むことにして

います。看護師のケアが弁当づくりに通じるという信念で行動しています。

ケアにコア、食材にコアあり

会社の強みは管理栄養士の専門性に医師の医学的知見を加味したお弁当づくりです。ダイエットやメタボ対策など「健康を考えた手作り食品」が『いばらき健康づくり支援店』として結実しています。健康づくりを持続的経営、サステナビリティのコアとして位置づけています。

コアには食材もあります。パパイアは食材のコアです。コアになるものを活かして作っているという実感を持って食づくりをしています。食材が一つあると広がります。足りないのは買ってきますし、業者から納入して貰います。農家に余ったのを貰いに行ったりもします。農家のおじいさん、おばあさんが、「これ食べるか」と持ってきてくれます。

今では、畑がひと畝あるからネギ取りに来てとか、何を取りに来てとか声掛け頂いています。そこで、野菜を持ってきてくれるおじいさん、おばあさんたちにうちの畑仕事手伝ってくださいとお願いしています。

以前、故 学習院大学名誉

教授 川嶋辰彦先生とのご縁でボランティアを学びました。ボランティアには有償のものはいくらでもあります。

「ボランティアでお金を貰って良いのですか」とお聞きしたら「いいじゃないの」です。

お手伝いの手間賃をお渡ししても良いのではと思いましたが、イチゴ農家のおばあさん、冬がん農家のおじいさんたちが「イチゴあるよ、冬がん、ゴーヤあるよ」と持ってきてくれた際に、更に盆暮れにはお弁当やお節でお礼をするようになりました。最初はとても遠慮していたのですが、そのうちに「ありがとう、助かるよ」となりました。

就農はサステナ経営の中核

一人用お節・年越しそば付きを商品にしています。孤食に焦点を当てた近未来への社会貢献事業あるいは商品づくりと思っています。高齢者支援や働く女性支援などを軸に商品づくりをしてきました。

就農を促進しています。就農の目的はいくつかありますが、障がい者雇用もそのひとつです。今、障がい者が4人います。2人は若い子です。

鹿嶋市に鹿島特別支援学校がありまして、その卒業生です。先生方から学生の時か

ら就農を目標にした実習をさせて下さい、と依頼を受けました。統合失調症になった40代の女性が一人おられます。更に、仲良くしている農家の方から、息子の面倒が年とともにきつくなってきたので、将来を考えて仕事をさせて貰えないかと頼まれました。チャレンジャーとしておおいに力になってくれています。

日本の農家はいつも綺麗にしていないとだめなのです。例えば、草がない畝です。草ボウボウにしたら農家の方に怒られます。雑草があると、自分の農地に種が飛んでくるからです。でも、障がい者が精一杯に真摯に畑やお弁当の工場で働いている姿を現認して、近隣の人たちもあたたかいまなざしで見守ってくれるようになりました。

留学生を後押しし、配送を手掛ける

私は今、タイの留学生をお引き受けしています。彼は歯学部に入学しています。彼は5年かけて日本語を学んで入学しました。ボランティアは継続です。歯学部で頑張ろうと励ましています。彼が日本の大学を卒業して母国で活躍するのを楽しみにしています。地元のおばさんたちでも

仕事のない人が沢山います。そこで、新しい事業として展開しようとしているのが配送です。弁当をお届けするには足、手段が必要です。会社で配送事業をやろうと思いましたが、法令上困難でした。そのため私たちが運転手をしてお届けすることにしました。会社の60代以下の人たち全員に二種免許を取って頂いています。更にヘルパー資格を取ってもらっています。

地域社会の衰えを超える

今、レストランを経営しています。コロナ禍の影響はまだまだ根深く、あちこちで立ち行かなくなったレストランが出ています。私たちが行きつけにしていたレストランがもうやっていけないとなりました。相談を受けましたので買い取ることにしました。スタッフがそのまま残ってがんばってくれています。

会社の主たる事業領域は、一つは料飲、二つは物販、三つは書籍です。この3つのうち、最初に手掛けたのは料飲、弁当づくりです。そして、弁当を運ぶ物販です。

2030年には、日本の人口のおよそ3割が65歳以上、さまざまな問題が起こるとされていますし、特に深刻なのは生産年齢人口の低下です。雇

用や医療、社会保障に大きな影響があるでしょうし、考え方やシステムの変革を余儀なくされると思います。

私が看護師として、役立っているところはその部分だと思っています。うちの従業員の多くは普通の地元のおばさんたちですが、なるべくヘルパーの資格まで取って頂こうと支援しています。ケアの視点でも状況を見てもらいたいからです。ご自宅をトントンとノックして返事がなかったら、すぐ私に電話して下さい、です。出かけていきます。安否確認のお役目も担っています。治療が必要なケースでは、主人がドクターですから出番です。警察とか消防とも連携をとっていますから、直ちに通報しています。

リベラルアーツは創造性への架け橋

誰もが何事においても正解を求めてしまいますが、果たして正解って必ずあるのかなと感じています。物事には正解があって回答できれば優秀だと思込んでいる人は多いです。

現代社会は一見すると自由に見えます。しかし多くの人が生き辛さ、不自由さを感じているのは何故かと。多くの人は新しいモノを創り出

す創造性を欠いています。それでは、自分も楽しくないし、社会に貢献することもできません。そのためには、リベラルアーツ※が求められるのではと思います。

現に、お弁当づくりにもりべラルアーツが生きていると思っています。まずは、夫が医師、妻が看護師、長女も医師として健康食づくりを実践しています。そして、次女は声楽科を卒業しました。青少年の育成支援や舞台活動を通して、食と音楽をテーマとして地域に貢献しています。

そして、この地、茨城へ

私が生まれたのは、エメラルドグリーンビーチや雄大な山など美しい自然に囲まれた島です。沖縄本島から南西へ約510kmに位置する日本最西端の島、与那国島です。島から台湾の新高山が見えます。葉草が取れるので、しょっちゅう台湾の人たちが小舟に乗って来ていました。

私は、与那国島に中学までいました。県立那覇高校の衛生看護学科に進学しました。そして東京女子医科大学付属看護専門学校で学びました。それから、東京女子医科大学付属病院脳神経外科でナースをしていました。そこでドクターの主人と知り合い結婚を

しました。主人の故郷が茨城です。やがて、この地、茨城にまいりました。茨城に住んで、仕事をして、県内の多くの方々を知り合いになりました。私は、茨城が大好きです。なんといっても緑豊かなところですから。

取材を終えて

美味いるプラスの創業者瀧本黎子さんの経営実践はまことにしなやかである。瀧本黎子さんを評すると「しなやか（レジリエント）な人」であり、「ドクターと連携し、健康を考えた手作り食品」に精進している途轍もない人物である。弁には備えるの意があり、そなえる用に当てるから「弁当」である。弁えるとは、物事や善悪の区別をすること、人としての道理を承知していることである。用に当てるは、「事業の用に供する」という意味であり、「事業の営みのために差し出す」ことをいう。

美味いるプラスは「健康管理」を主菜、「ダイエットとメタボ対策」を副菜としている。取材時に提供された「弁当箱」の中身は4つに気取られていた。まず2つは、弾力性（レジリエンス）な経営と食づくりと医師と看護師相俟って夫唱婦隨の医食同源

(ケア&キュア)である。もう1つは、健康食を持続的に提供し続ける地域社会再生(サステナビリティ)である。そして、食づくりのプロ

セスそのものが環境貢献(再生可能エネルギー)である。「美味いるプラス」は、地域社会の困難課題を解決するために事業を担い、地域社会の


持続的再生さらには環境貢献をするためのコンテンツを提供し続けることを企業価値としているのである。

| | |
|-------------------------|---------------------|
| しなやか (レジリエンス) | 医食同源 (ケア & キュア) |
| 地域社会持続的再生 (サステナビリティ) | 環境貢献 (再生可能エネルギー) |

※リベラルアーツ


リベラルアーツはギリシャ・ローマ時代の「自由7科」(文法、修辞、弁証、算術、幾何、天文、音楽)が起源である。自由人として生きるための学問がリベラルアーツであり、人間を自由にする技でもある。多様な世界へ、より良い自分、より良い企業、より良い社会へと導くもののひとつがリベラルアーツである。





心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ


ALPHARD



アルファード

茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町 1887 〒310-0851
TEL 0120-090110
<https://www.ibaraki-toyota.jp/>

START YOUR IMPOSSIBLE  **TOYOTA**

「人生、考え方が大切」

株式会社三栄製作所

代表取締役会長 南雲 京子氏



南雲 京子氏

本日は、㈱三栄製作所の会社概要と経営理念、信じている考え方、社員に求められる資質についてお話しします。

まず、当社の会社概要についてお話しします。当社は主にエレベーターを上下させるために必要な巻き上げ機を製造・販売している会社で、1972年に設立、社員数は45名、工場は笠間市と中国・天津にあります。当社の製品は乗用エレベーターや荷物用エレベーター以外に学校や飲食店など日本中様々な場所で使用され、一部東南アジアでも使用されています。日本国内の取引先は250社を超えて底堅い実績と取引先からの信頼によって支えられた誇りが持てる会社です。

次に当社の経営理念についてお話しします。当社の経営理念は、「全従業員の物心両面の幸せを追求すると共に、お客様に安全と安心と真心を提供し社会全体のお役に立つこと」です。物心両面の「物」は金銭面の充実のことを指し、「心」はやりがいや精神面の充実を指します。また、巻き上げ機の製品の特性上、お客様に安全を提供しなければなりません。そして、会社が税金を納めることで社会全体の役に立ちます。当社はこれらのことを目的とし、会社経営に取り組んでいます。

次に信じている考え方についてお話しします。それは稲盛哲学の方程式、「人生・仕事の結果＝考え方（-100～+100）×熱意（0～100）×能力（0～100）」です。熱意と能力は0から100まで幅があるのに対し、考え方は-100から+100まで幅があります。どんなに能力や熱意があっても考え方が後ろ向きだと人生や仕事はマイナスになってしまい、結果が付いて

きません。逆に前向きになるほど考え方の数字が上がっていき、結果がついてきやすくなります。

最後に社員に求められる資質についてお話しします。当社の社員に求められる資質は3つあります。1つ目は自燃性又は可燃性タイプの人間であることです。自燃性タイプの人間とは、人から言われなくても物事に自ら取り組み、燃えることができる人間であり、可燃性タイプの人間とはその自燃性タイプの人間に影響されて物事に取り組むことができる人間ということです。2つ目はねばり強く、諦めないことです。3つ目は感謝の心も持ち合わせ、前向きで肯定的な言葉である明元素言葉を発する人間であることです。これらは物事を成す喜びを味わってもらうためにも必要な資質となるでしょう。

今日皆さんにお伝えしたことが一つでも二つでも興味を持って頂いて自分の将来を考える時に参考にして頂けたら幸いです。

「JX金属株式会社について」

JX金属株式会社

執行役員 日立事業所長 相場 玲宏氏



相場 玲宏氏

本日は、JX金属株式会社の会社概要と持続可能な社会の実現への取り組み、茨城県とJX金属グループの関係性、皆さんが社会人になってから求められることについてお話しします。

まず、当社の会社概要についてお話しします。当社は非鉄金属素材のグローバルプレーヤーとして暮らしに欠かせない先端素材の供給を通じて社会に「価値」を提供する会社です。また、当社の強みは資源開発、金属製錬、先端素材の供給、リサイクル事業など上流から中流、下流まで一貫して取り扱う強固なサプライチェーンを有することです。当社が供給する先端素材はスマートフォンや自動車をはじめ幅広く使われております。FPC（フレキシブルプリント回路基板）向け圧延銅箔、半導体ターゲットなど多くの製品が世界No.1のシェアを有

しております。

また、2019年に「技術立脚型企業への転身」という方針を打ち出し、研究開発・製品開発にも力を入れており、開発体制も充実させております。一方、自前での開発には限界がありますので、大学や外部研究機関との連携やスタートアップへの投資を積極的に行っており、その成果が新規製品や新規事業として花開くことが期待されます。

次に持続可能な社会の実現への取り組みについてお話しします。非鉄金属・先端素材メーカーとして貢献できるSDGs項目の一例として「つかう責任・つくる責任」「気候変動に具体的な対策を」などがあります。当社ではCO2ネットゼロにむけた2030年度中間目標の設定について、自社排出量を50%削減するという中間目標を設定しました。日立事業所はすでに50%削減をほぼ達成していますが、今後は、素材生産時における責任と素材供給の責任の両面に取り組み、循環型社会の構築を目指しています。

次に茨城県とJX金属グループの関係性についてお話しします。JX金属グループはその源流である日立鉱山の1905年の創業以来、地域との共存共栄を第一に考え、銅資源の供給を通して工業都

市・日立市の発展に大きく寄与してきました。そのマインドを今も大切にしており、現在、茨城県内にグループ会社を含めて4つの工場がありますが、更に日立市に2つの工場とひたちなか市に1つの工場を新設します。いずれの工場も先端素材関連の工場ですが、特にひたちなか市の新工場は先端素材関連事業を担う中核拠点として運用していく予定です。茨城県から先端素材の開発・供給を通して世界のデジタル化推進に貢献して行きたいと考えております。

最後、皆さんが社会人になってから求められることを私なりにお話しします。それは仕事本位でプロ意識を持って働くということです。何をもってプロと言うかは皆さんそれぞれ違うと思いますが、私的には「仕事に責任を持つこと」や「業務や技術を磨くために練習・勉強を重ねる」、「主体的に考え具体的に動く」、「チャレンジ精神を持つ」、「諦めない」、「周りとよくコミュニケーションを取る」、「全体最適を考える」等々を思い浮かべます。皆さんもプロとは何かよく考え、それを実践していただきたいと思います。

本日お話ししたことが皆さんに少しでもお役に立てば幸いです。

経営教育委員会

令和5年度第1回 土業ネットワーク意見交換会を開催

経営教育委員会(委員長 篠原智氏(株)筑波銀行代表取締役専務)が主管する土業ネットワーク(会長 皆川雅彦氏 社会保険労務士法人葵経営代表)は、7月25日(火)、今年度第1回目となる意見交換会をホテルレイクビュー水戸にて開催。事務局含め14名が出席のもと、事業の進捗と今後の活動計画について報告、協議がなされた。

また後半ではメンバー2名が講師を務め、『土業×デジタル』をテーマに昨今の業界のトレンドや課題について事例発表頂いた後、情報・意見交換を行った。

事例①「社労士に求められる顧客へのデジタル支援」

講師：ひぐち社会保険労務士事務所 樋口敏幸氏

事例②「会計士・税理士業務のデジタル化と今後の影響」

講師：小野瀬・木下税理士法人小野瀬公認会計士事務所代表社員 小野瀬貴久氏

情報・意見交換では「現在はペーパーでなく、クラ

ウドで主要書類を管理している顧客が増えており、顧客が利用するクラウドサービスを土業も使いこなせないと、サービスの提供に支障が出ている」といった意見が複数あり、従来の仕事の進め方に拘ることなく、フレキシブルな対応を進めるためにも、今回のような情報交換の機会は重要、といった感想が寄せられた。



経営教育委員会

第13期 第一種・第二種 衛生管理者受験対策のための対策講座を開催

経営教育委員会(委員長 篠原智氏(株)筑波銀行代表取締役専務)は8月1日(火)~2日(水)の2日間に亘り、水戸プラザホテルにて“第一種・第二種衛生管理者受験のための対策講座”を開催。当事業は例年開催しており、国家資格“衛生管理者”の取得を支援するもので、本年は第一種に41名、第二種に13名の計54名が受講した。

講師には、資格取得支援業務を展開している(株)ウェ

ルネットより柴田珠美講師を派遣頂き、指導頂いた。同社提供の受験対策テキストは、直近の試験の出題傾向を捉え都度改訂されており、短期間で合格を得るために無駄のないポイントを絞った学習が進められるため、受講者からの評価は高い。

参加者アンケートでは「試験まで1

カ月と少しの時間しかないが、最近の出題傾向を踏まえ、良い意味でポイントを絞ったテキストなので、限られた時間を有効に活用して合格を得たい」といった感想が寄せられた。



青年経営研究会（会長 木瀬裕氏（株）下妻スポーツ 代表取締役）は、8月4日（金）～5日（土）の2日間に亘り、例会を開催した。例会では、交流拡大委員会（委員長 栗山秀樹氏 栗山工業（株）代表取締役）の委員が企画&運営の主体となり、事業が進められた。

今回の例会では、今年の3月に開業された日本ハムファイターズの新球場「エスコンフィールド北海道」に伺い、新球場を中心に、マンション・宿泊施設・商業施設・レストランなどで構成された北海道ボールパークFビレッジを見聞した。

はじめに、日本ハムファイターズの球団関係者から「多様なパートナーと共につくる共同創造空間」をテーマにお話を頂き、スポーツ・ビジネ

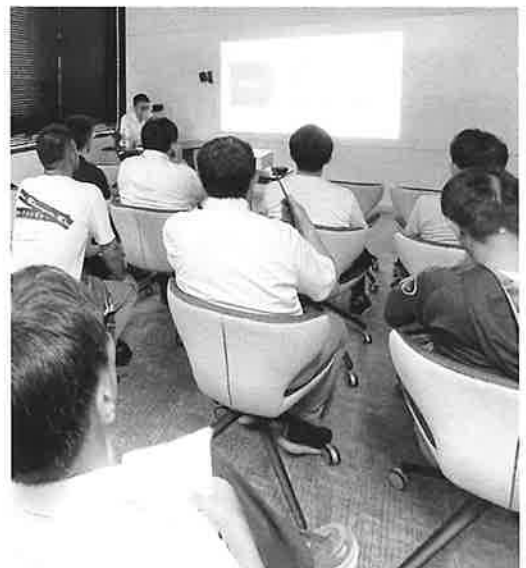
ス・まちづくりなど、多彩な側面を持つボールパークのプロジェクトやファイターズに関する内容、また、従来の常識を覆す多様な観戦環境を備えた複合施設の姿などについてお話を頂いた後、球団関係者との意見交換を行った。

意見交換後には、スタジアムの内外を見学。スタジアムの敷地面積は約5万㎡あり、収容人数は約3万5千人。掘り込み式フィールドから地上4階まで観客エリアが広がり、開閉式屋根付きのスタジアム。スタジアムに敷き詰められた芝は天然芝であり、芝の育成を促すため南側は一面のガラス壁で、みずみずしい草の香や色鮮やかなグリーンを目にすることで、五感で心地よさを感じることができるスタジアムであった。

また、スタジアムには、

最新鋭で世界最大級の大型ビジョン（86m×16m）が設置されている他、ホテルやサウナ、ミュージアム、飲食店、公園など様々なアクティビティが体験できるエンターテイメント空間が多数存在、賑わいと新たな観戦環境が創出されており、“野球が好きでなくても楽しめる”がコンセプトである、世界最大級の巨大ボールパークの姿を目の当たりにした。

スタジアム内外の見学後には、試合を観戦（日本ハム vs ソフトバンク）し、世界最大級の大型ビジョンを2面備えたスタジアムでは、映像や照明、音響等が連動した圧巻のパフォーマンスで試合を盛り上げており、雰囲気や臨場感を体感しながら参加者間の交流を深め散会した。



常陸・那珂地区支部

第6期 幹部・中堅リーダー養成講座 を開催

常陸・那珂地区支部(支部長 柳生修氏 コロナ電気(株)代表取締役社長)は、7月14日(金)、ホテルクリスタルパレスにおいて、「現場を引っ張り、管理ができるプレイングマネージャー」の養成を促進すべく、「第6期 幹部・中堅リーダー養成講座」を開催し、幹部クラスを中心に50名が参加した。

講師には、受講者・受講者間の対話を重視し、深い気づきと自律的な行動を促す研修で好評な、株式会社アイ・イーシー専任講師 丹羽将喜氏が登壇し、「リーダーシップとマネジメント」「チームの構造とリーダーの役割」「リー

ダーに求められるスキル」についてグループワークを交えながら熱く解説。

「リーダーに求められるスキル」として、①相手の行動・変化につなげる話すスキル、②相手の本音を引き出す聴くスキル、③学びの定着化と方向修正を促すほめる/叱るスキルの習得が重要であること等をレクチャーされ、参加者はこれらのスキル習得に向け

た具体的方法論を熱心に学んでいた。

参加者からは「リーダーシップとは?と力んでいたが少し気が楽になった」「他業種との交流もあり刺激的であった」「自分の職場に置きかえるなどで貴重な経験ができた」といった感想が寄せられていた。



水戸地区支部

「経営セミナー ～若手社員の早期離職を防ぐ為の管理者理解～」を開催

水戸地区支部(支部長 幡谷史朗氏 茨城トヨタ自動車(株)代表取締役社長)は、8月7日(月)、水戸市民会館にて「経営セミナー」を開催。

当セミナーは、テーマを“若手社員の早期離職を防ぐ為の管理者理解”とし、当日は41名の参加者が集まった。

講師には、第1部として、松本みつはる社会保険労務士事務所 代表 松本光治氏をお

招きし、若手社員「早期退職」失敗事例×4選から学ぶ～直近の法改正を踏まえた労務改善のツボ～について、社会保険労務士の視点からご講義をいただいた。また、第2部として、(株)Life Happiness 代表取締役 大川晃司氏より、世代間による価値観のズレが離職を招く～良好な人間関係を築くためのコツを学ぼう～といったテーマでご講

義をいただいた。

参加者アンケートでは、「採用・教育担当として今後の新入社員との関わり方、価値観などを知ることができた。」「世代別の特徴と価値観がとても分かり易く理解出来た。世代別の教育・個人目標の計画を立てて行きたいと思う。」「社内での円滑なコミュニケーションを築くため、部下への声掛け、聴く姿勢など

をより意識していこうと思う。」などといった感想が寄せられた。



松本光治氏



大川晃司氏

水戸地区支部

経営セミナー「法改正対応・近時の労使トラブル事例」を開催

水戸地区支部（支部長 幡谷史朗氏 茨城トヨタ自動車(株)代表取締役社長）は、8月22日(火)、水戸市民会館にて「経営セミナー」を開催。

当セミナーは、テーマを“法改正対応・近時の労使トラブル事例～60時間超割増UPの運用課題と労使トラブル後の改善事例～”とし、当日は15名の参加者が集まった。

講師には、社会保険労務士法人笹沼事務所 代表社員 特定社会保険労務士 笹沼尉行氏をお招きし、月60時間超割増率UPの法改正や近時の

労使トラブル事例などについてご講義をいただき、また、労使トラブルに関する企業の事前防止策を考えるべく、グループワークを行った。

参加者アンケートでは、「研修時間が1時間半と比較的短いセミナーでしたので、中だるみせず、良い緊張感で聴講できました。」「月60時間の割増賃金について自分の理

解が不十分であったことが分かりました。その点、大変分かり易く有用でした。」「グループワークで他の企業様と交流が出来て有意義だった。」などといった感想が寄せられた。



土浦・石岡・つくば地区支部

若手社員の採用と育成を学ぶセミナー&ワークショップを開催

土浦・石岡・つくば地区支部（支部長 塩谷智彦氏(株)東京電機代表取締役社長）は7月24日（月）、つくば国際会議場において「若手社員の採用と育成を学ぶセミナー&ワークショップ」を開催した。

本研修は、多くの企業が課

題と感じている若手の社員の採用と育成について、講師からのレクチャーに加えて、参加者同士が課題について議論を深めることで、“生きた知見”にすることが特徴。

第一部の「若手社員の採用について」は、講師に徳田社会保険労務士事務所の徳田徹

也氏にお務め頂いた。徳田氏からは若手社員の就職に関するトレンドを解説頂いた後、とくに「自社にとって“使える”採用ツールとは何か?」、「求職者は就職先企業のどこを見ているのか?」、「自社でも直ぐに取り組める活動とは何か?」に

ついて、参加者の実体験なども踏まえながら、ディスカッションを深めた。

第二部の「若手社員の育成について」は、(株)ヒューマン・ブレンディ代表取締役の田寺尚子氏に講師をお務め頂き、採用した若手社員を“辞めさせない”定着と育成のポイントの解説を頂戴した後、

同じく参加者同士が悩みを共有しながら、その解決策について議論を深めた。ディスカッションの要所としては、「若手が『辞める』表向きの理由と本当の理由に違いと本音について」、「『辞める』理由が分かっている、社内『体質』を変えることができないジレンマ」、「若手が辞

めない、定着している、『育てる』会社の特徴とは」であった。

第三部として交流懇親会も催され、最後まで参加同士の自由な討議が行われた。

今後も経営者、経営管理者が悩みを共有し合い、その解決策について議論を深める場の創出を行っていく。



鹿行地区支部

「Z世代の育て方研修」を開催

鹿行地区支部（支部長 片岡尚氏 鹿島石油(株)常務取締役）は、7月27日(木)、鹿嶋市の日本製鉄鹿島人材育成センターにて「Z世代の育て方研修～Z世代の価値観に合わせた育成手法を学ぶ～」を開催。計36名が参加した。

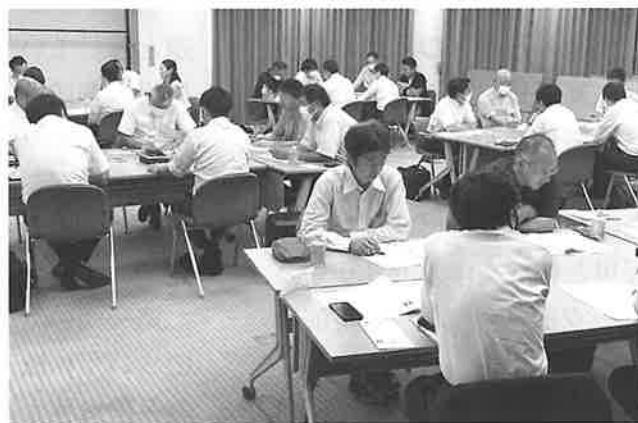
講師には(株)インソース講師の山崎和加代氏にご指導頂いた。

Z世代といわれる昨今の新人・若手が育った時代背景を理解した上で接することで、早期離職を防ぎ、社内外で活躍する有望な人材へと成長するとともに、職場環境づくり

の必要性についても改めて理解を深めることをねらいとした研修。参加者はグループワークにも取り組み、ケーススタディや他参加者の事例について情報交換も行った。

参加者アンケートでは「研修を終えて振り返れば、今日学んだことはどの世代に対しても大事なことであり実感した。自社の社員教育

にも本日の学びを活かしていきたい」、「グループワークでの議論は、業種は異なれど各社の悩みは共通で、自分自身とても勉強になった」といった声が寄せられた。



【シリーズコラム 士業の広場 第20回】

会員向け新サービス【士業ネットワーク】の運営開始から1年が経過いたしました。それを機に、当ネットワークにご在籍の士業会員の皆様をより知っていただきたく、リレー形式によるコラムを掲載することとなりました。

『地域の経営者と共に・・・』

坂入社会保険労務士事務所

所長 坂入 浩行 氏



取手市で社会保険労務士・行政書士を開業しております坂入浩行と申します。

茨城県経営者協会の取手・龍ヶ崎地区支部の幹事として、入会1年にも拘らず新たに就任させていただきました。ご指導のほどよろしくお願い致します。

平成元年開業で、今年で35年になります。嬉しいことに東大卒の息子も資格を取得しました。将来は、社会保険労務士法人にする予定です。

クライアント数400社で、社会保険労務士であるにもかかわらず税務署の協力団体である龍ヶ崎法人会及び龍ヶ崎関税会の理事もやっております。またロータリクラブとライオンズクラブの会長も経験しておりますので、地域の経営者1000名以上が知り合いでありまして、企業間の仕事や人材の紹介、ゴルフの予約などもよく頼まれます。役立つ情報が満載の経営者協会への新規加入も勧奨していきたいと思っております。

今後、特に注力していきたい業務として

1 労働保険事務組合業務

全国労働保険事務組合連合会茨城支部の理事で、茨城労働局と労働保険の適用勧奨を行っておりますので、未加入事業所への加入促進、特別加入の勧奨を行います。

2 労働条件審査

茨城県社会保険労務士会で労働条件審査委員会に所属しておりましたので、労働条件審査の作成及びアドバイス等を行います。

3 働き方改革対応

茨城県社会保険労務士会で働き方対応特別委員会に所属しておりますので、2024年問題を中心とした働き方改革対応の作成及びアドバイス等を行います。

4 健康経営

健康経営ビジネス協議会茨城支部の特別サポーターをやっておりますので、健康経営優良法人認定制度の認定手続き等を行います。

5 外国人労働者

人手不足解消のために、ベトナムの送り出し機関との提携による外国人技能実習生の紹介を行います。

以上のような業務を行いたいと思っております。また通信カラオケに私が作詞した歌「いつか激しい雨が」が配信されておりますので、歌っていただければ幸いです。

未熟者ですが、皆様と一緒に経営の勉強をしていきたいと思っておりますので今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

坂入社会保険労務士事務所

所長 坂入浩行

住所：〒300-1514 取手市宮和田489

TEL：0297-83-1510

偏屈爺の甘辛放談②6

子供の自殺、過去最多を憂う＝ 生き方の多様性示せ

かつて、わが国の自殺者数は2003年の3万4427人をピークに3万人を超え、「自殺大国」と称されることがあった。その後、政府が2006年に自殺対策基本法を制定し一定の対策が進められたことや景気回復なども背景に2022年の自殺者数は2万1881人とピーク時から1万人以上減少した。

この数字を見る限り、改善したかのように見えるが実情はそうとも言えないようだ。そもそも日本の自殺者数は1997年まで2万人台の前半で推移していた。それが1997年11月3日に三洋証券が倒産、同月17日には都市銀行の一角である北海道拓殖銀行が経営破綻、同月24日には山一証券が自主廃業に追いやられるなど経済危機が相次ぎ翌年には自殺者が急増。年間ベースで約8500人も増えて一挙に3万人台に突入した。その点では昨年の2万人台前半は元に戻りつつあると分析できるかもしれない。

■子供の自殺、初の500人超え

そうした中で、厚生労働省と警察庁が2023年3月に公表した昨年（2022年）1年間の小中高生の自殺者数が514人で、1980年の統計開始から初めて500人を超えて過去最多となったという記事に衝撃を受けた。その内訳は高校生が最多で354人、次いで中学生が143人、小学生17人と続く。

児童・生徒の自殺は2016年から増加傾向で、コロナ禍が始まった2020年には前年比100人増の499人、翌21年も473人と高水準が続き、登校できず自宅でのリモート授業なども影響していると考えられる。コロナによる影響は特に若い女性や若年層に大きく、2020年10月28日の新聞報道では「コロナで自殺者8000人増、20代女性最多、経済問題苦か」

「外出自粛などで周囲とのつながり絶たれたストレスは女性や若年層ほど大きい」（産経新聞）と報じている。

■「いじめ」との因果関係は

未来のある子供たちが自ら命を絶つことほど痛ましいことはない。それは大人の側の責任が極めて大きいからだ。かつて、いじめが大きな社会問題としてクローズアップされた時代、筆者は新聞の1面コラムで「いま、小学生、中学生でいじめにあっている君たちへ。もし、君が今いじめられているなら、そんな学校には無理して行かなくていいんだよ。人生は長いし、世界はとっても広い。そんな人生の中で、小学校や中学校生活なんて、ほんのちっぽけなものなんだ。君がいじめられて地獄のような毎日を送っているのなら、勇気をもって学校を休もう」（2006年11月3日付、いばらき春秋）と呼び掛けたことがある。

文部科学省が2021年度に実施した調査によると、病気や経済的理由などとは異なる要因で30日以上登校せず「不登校」と判断された小中学生は24万4940人、小中高と特別支援学校のいじめの認知件数は61万5351件でともに過去最多だった。

9月は長い夏休みが終わり、新たな学期がスタートする月である。そして9月1日は統計上、1年の中で子供の自殺が突出して多い日である。長期の休み明けで生活環境が大きく変わり、ただでさえ不安定で憂鬱な気持ちにさせられる時期である。

急激に進む少子化の中で、未来を担う子供たちは国の宝である。その宝に希望を抱かせ、生きる勇気を与えるのは私たち大人の責任だ。そのためには子供たちの視野を広く外に、世界に向けさせ、これからの生き方に多くの選択肢を与えてあげることが必要だ。9月を迎えて改めてそう思う。（2023年9月11日）

茨城新聞社
元論説委員長

おぬま たいら
小沼 平氏

2023年卒学生の内々定率は8月末時点で83.9%となり、まもなく内定解禁日(10月1日)を迎えます。今回は2024年卒学生向けの内定式に関する調査、および2025年卒学生の夏季休暇の過ごし方、インターンシップについての調査結果をご紹介します。

■2024年卒内定式について

●入社予定先の内定式の実施形式(予定)



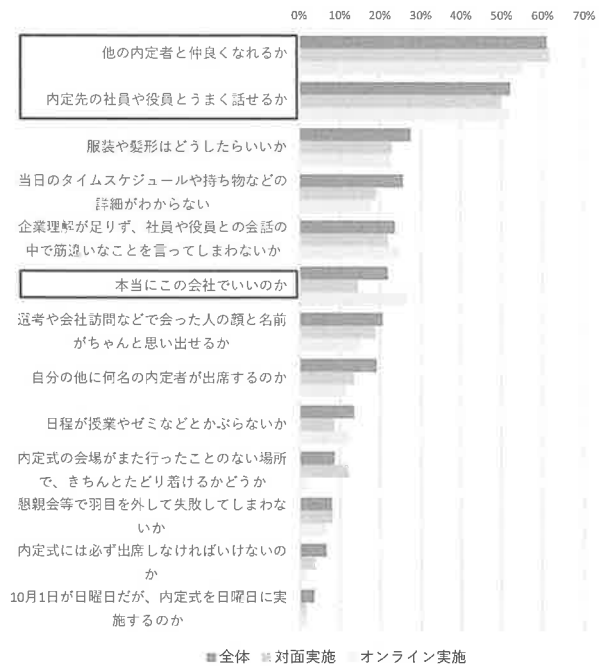
- 対面形式で実施される予定
- 対面とオンラインの併用(参加形式は参加者の希望制)で実施される予定
- 対面とオンラインの併用(参加形式は参加者の居住地により決定)で実施される予定
- オンライン形式で実施される予定
- その他

今年は内定解禁直後の最初の平日となる10月2日(月)に多く実施されると見込まれる内定式ですが、上グラフはその形式について調査したものです。選考活動同様、内定式に関しても「対面形式」が増えており、コロナ禍前の様子に戻りつつあることがわかります。

右グラフは、内定式に向けて不安なことや気がかりなことがあるかを調査したもので、最も多かったのが「他の内定者と仲良くなれるか」、次いで「内定先の社員や役員とうまく話せるか」と続いており、内定式当日のコミュニケーションに対して不安を感じている学生が多いことが読み取れました。

また、対面とオンラインで最も差が大きかったのが「本当にこの会社でいいのか」で、内定先そのものへの不安と内定式の実施形式の因果関係は不明ですが、対面で他の内定者や内定先の社員と交流することで内定先に感じている不安や懸念を解消しようと期待していたものが、オンライン実施となった事でそうした期待が外れ、それによって内定先に対してより不安を感じるようになったという可能性も考えられます。

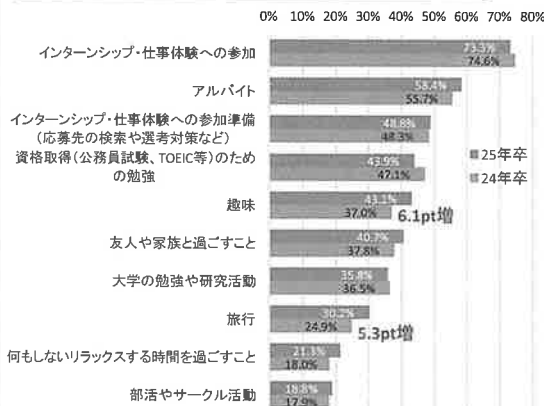
●内定式に向けて不安なこと、気がかりなこと



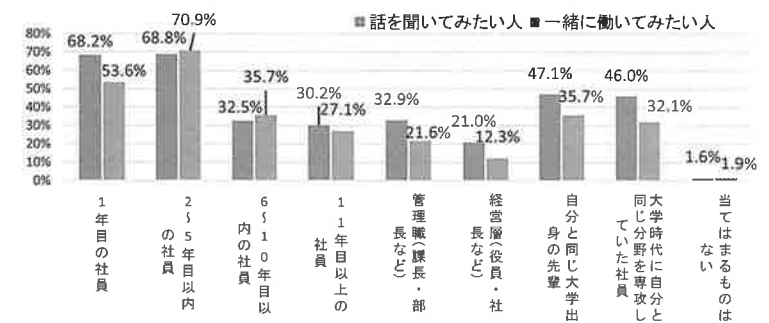
▲マイナビ2024年卒 大学生 活動実態調査(8月調査)より

■2025年卒学生の夏季休暇について

●夏季休暇中はどう過ごしたいか



●インターンシップ・仕事体験で「話を聞いてみたい人」「一緒に働いてみたい人」



▲マイナビ2025年卒 大学生 インターンシップ・就職活動準備実態調査(7月調査)より

左グラフは夏季休暇前の7月時点で、2025年卒学生に対して夏季休暇の予定について調査したものです。行動制限のない夏、ということもあり前年と比較して「趣味」「旅行」がポイントを伸ばしているものの、最多は前年同様「インターンシップ・仕事体験への参加」となりました。

右グラフは夏季休暇の予定で最多となったインターンシップ・仕事体験において、「話を聞いてみたい人」「一緒に働いてみたい人」を聞いた調査で、いずれも最多だったのは「2~5年目の社員」、次いで「1年目の社員」でした。学生自身に近い存在の人から話を聞きたいという傾向が見られ、職務経験のない学生が少しでも自分に置き換えて働くことを具体的にイメージしようとしている様子が見られます。しかしながら、単独で特定の年代や属性を選択している人は少なく、若手社員、ベテラン社員、管理職などそれぞれの立場で感じていることを聞いてみたいというニーズもあるようです。

取手市の水害、これから

茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋 氏

今年の夏は異常に暑く、いくつかの台風が上陸し、各地で水害を発生させている。6月の台風2号では、取手市の双葉地区で400世帯が床上浸水という大きな水害が起きた。当会はこの地区の自治会の方々と被災者支援に継続して行ってきた。8年前、常総市での鬼怒川洪水での経験を踏まえて、被災者が必要とする情報をわかりやすく伝えたり、自治会の皆さんと何度も被災者宅を訪問して聞き取った課題を行政に伝える活動をしてきた。災害発生から2か月も過ぎると災害ボランティアの姿もなくなり、道路に出ている災害ゴミもなくなるが、災害は終わったわけではない。いまだ床や壁の修理が済んでおらず不便な生活をしている人、掃除と片付けで疲れている人、お金のことやまた災害に遭うのではと不安に思っている人はいるだろう。

常総水害の際、そうした不安と苦悩を抱えた住民同士が繋がれる場をつくろうと空き家をカフェ、シェアハウス、保育園に改修する活動に取り組んできた。同じことを双葉地区でもできないかと考えたとき、1軒の空き家があった。不思議なことだが、その所有者はNPO関係でご縁のある人で快く場の活用に賛同

してくれた。いくつかの支援団体と連携して、空き家だった元小料理屋の改修にも取り組み、8月末に地域の復興と人の交流のための拠点として「つなぐ」が開所した。開所式の日、多くの人々が足湯に来られた。久しぶりに地域の人といろいろな話ができたし、体も癒され、とても良かったという声が聞かれた。当日は常総から、当会の保育園で飼育している子ヤギ二頭もつれていったが、癒されると喜ばれた。この拠点のすぐ近くにある幼稚園は1階が浸水し、大規模な改修が終わるまで、2階しか使えず、自宅で再当園できる日を待っている子どもたちが沢山いる。幼稚園では使えなくなった教材、楽器などを揃えたいと再開のための寄付を募っている。ぜひ協力してほしい。

今回被災した地区は小貝川と牛久沼に挟まれた低地で浸水リスクが高い。避難指示が流れず多くの車が廃車となった。もともと高齢化率が高く、バスも殆ど通らず、買い物や通院など移動を支える仕組みも必要だし、空き家も多い。水害のあとには、家の再建を断念し町を去る人が増え人口流出が起こりやすい。当会は自治会の皆さんと自主防災、高齢者の移動支援や見守り、空き家の活用などに継続

的に取り組んでいきたいと思う。これらの課題に直面している地域は県内にも沢山あるはずで、地域間、特に鬼怒川や小貝川など流域での住民の交流が重要だと思う。

常総での取り組みとして、空き家空き地に移り住む形で外国籍住民が増えていることから、多文化防災に力をいれている。今年、JICA筑波と協力し外国籍住民向けのピアサポーター講座を実施した。税金、社会保険、福祉と並び防災についても学んだ。外国籍住民自身が防災リーダーとなり、9月にはその実践として行政と連携し避難訓練も行う。自宅の災害リスクや避難所の情報をどう得るか、避難所に何を携っていけばいいか、災害時の避難を体感してもらう。ピアサポーターは、自らが属する外国人コミュニティに参加を呼び掛ける活動を行う。モノを備蓄し避難場所を確認することは必ず役に立つ。さらに避難所の開設訓練、避難訓練に外国籍の人、子づれ、高齢者、ペットユーザーなど多様な人が参加すれば、より避難しやすい避難所づくり、困った時に助け合える地域づくりにもなる。こうした地域づくりが広がってほしい。

茨城地方最低賃金審議会

地域最低賃金（茨城県内のあらゆる業種に適用）

911円より42円引き上げ、時間額953円に

茨城地方最低賃金審議会が、本年度第1回審議会を7月3日に開催され、茨城県最低賃金（県内のあらゆる業種に適用される法定の最低賃金・現行時間額で911円）の改定諮問をうけた。

1. 中央最低賃金審議会での審議 ～Bランク(茨城県)は、プラス40円引き上げの目安答申～

本年度の中央最低賃金審議会において、改定目安引き上げ額として、Aランク41円、Bランク(茨城)40円、Cランク39円と答申された。全国加重平均は1,002円、全国加重平均の上昇額は41円となり、目安制度（昭和53年）が導入されて以降、最大の上げ幅となる。

2. 茨城地方最低賃金審議会の審議 ～「現行プラス42円、時間額953円」で決定～

茨城県最低賃金の改正については、本年7月3日、茨城労働局長より茨城地方最低賃金審議会に諮問を行い、7～8月にかけて、公益委員を交えて労使委員の間で議論が行われ、最終的には両者間の意見は纏まらずに採決となり、結果、公益・労側賛成、使側反対となり、現行の時間額911円を中央の目安額より2円高い、+42円を引き上げ、953円に改正するとの答申がなされた。

茨城県最低賃金は、原則として、茨城県内の事業場で働く常用、臨時、パート、アルバイトなどすべての労働者に適用されるもので、加えて、上記審議会では、最低賃金の引上げにおける中小企業・小規模事業者の経営への影響も考慮し、各種助成金等の積極的な活用を促すようその広報と、行政施策の拡充も求めた。

◆ 最低賃金引上げへの支援措置等に関する相談先窓口

⇒ (相談全般)茨城労働局雇用環境・均等室 Tel : 029-277-8294

⇒ 業務改善助成金コールセンター Tel : 0120-366-440

⇒ 働き方改革推進支援助成金 茨城労働局助成金事務センター Tel : 029-246-6371

※茨城県最低賃金は本年10月1日より「953円」に改定・発効されます。

茨城県労働委員会からのお知らせ

労働委員会は、中立・公正な立場で、労使紛争の解決に向けて争議の調整や不当労働行為の審査などを行っています。労働組合や使用者だけでなく、労働者個人で利用できるあっせん制度もありますので、是非ご活用ください。

◆ 無料労働相談会の実施について

解雇やパワハラなど労働関係のトラブルにお悩みの方を対象に、労働委員会の委員（弁護士、労働組合役員、会社役員など）が直接相談に応じる個別の労使紛争のあっせんに係る労働相談会を開催します。相談は無料です。まずは、ご相談ください。

※面談または電話により相談を行います。

※事前予約制です。相談日前日までに、お電話でご予約ください。

| | 日時 | 会場 |
|-----|----------------------|------------------------------------|
| 第1回 | 10月11日（水）14:00～17:00 | 県庁23階 茨城県労働委員会事務局 （水戸市笠原町978-6） |
| 第2回 | 10月19日（木）17:00～19:00 | |
| 第3回 | 10月27日（金）14:00～17:00 | |

【対象者】 県内に所在する事業所の労働者又は使用者

（正社員、パート、派遣社員、アルバイトなど雇用形態は問いません）

【ご予約・お問い合わせ】 茨城県労働委員会事務局 TEL 029-301-5563

【相談事例】

労働者個人から

- ◆ 職場の先輩からパワハラ・嫌がらせを受けた。上司に相談したが、十分な対応をしてくれない。
- ◆ 勤務先の社長から、会社の経営が厳しいから辞めてくれと言われた。退職しなければならないのか。
- ◆ 仕事でミスをしたことを理由に突然解雇された。解雇理由に身に覚えがない。解雇に納得がいかない。

使用者から

- ◆ 社員に配転命令をしたが、理由なく拒否された。
- ◆ 社員から高額な退職金の上乗せを求められて困っている。
- ◆ 経営不振で労働条件を変更したいが社員との話し合いがうまくいかない。



【お問い合わせ先】 茨城県労働委員会事務局

〒310-8555 水戸市笠原町978番6（県庁23階）

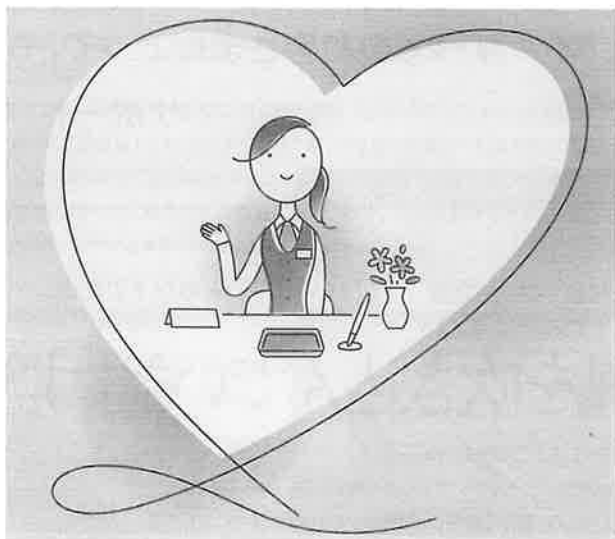
TEL 029-301-5563

E-mail roudoui@pref.ibaraki.lg.jp

URL <http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/roudoi/index.html>



人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

2023

時代、文化、組織...
「これくらいだろう」という自分の中の、限界

壁を、  こえよう。

『BE BEYOND』

私たちが目指すのは
「スーパーマーケット」の、次のカタチ

株式会社 カスミ

〒305-8510 茨城県つくば市西大橋599-1
TEL.029-850-1850

KASUMI

<https://www.kasumi.co.jp/>



HITACHI
Inspire the Next



次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

時代はいま、新しい息吹を求めて、大きく動きはじめています。

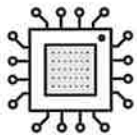
今日を生きる人々がいつも元気でいられるように、明日を生きる人々がいつもいきいきとしていられるように。

日立グループは、人に、社会に、次の時代に新しい風を吹き込み、豊かな暮らしとよりよい社会の実現をめざします。

日立の樹オンライン www.hitachinoki.net

株式会社 日立製作所 株式会社 日立ハイテク 日立グローバルライフソリューションズ株式会社 日立Astemo 株式会社
株式会社 日立ビルシステム 株式会社 日立産機システム 株式会社 日立インダストリアルプロダクツ 日立オリジンパーク

共創型化学会社へ



次世代半導体
を共創する



車の電動化
を共創する



次世代高速通信
を共創する



脱炭素 × ケミカル
リサイクル
を共創する

RESONAC
Chemistry for Change

2023年1月1日、昭和電工マテリアルズは昭和電工と統合し、「レゾナック」へ社名変更いたしました。

株式会社レゾナック

山崎事業所 〒317-8555 茨城県日立市東町 4-13-1 TEL(0294)22-5111

下館事業所 〒308-8521 茨城県筑西市小川 1500 TEL(0296)28-1111

つくばサイト 〒300-4247 茨城県つくば市和台 48 TEL(029)864-4000
(先端融合研究所、高分子研究所、計算情報科学研究センター)

茨城県内立地のグループ会社

日本ブレーキ工業株式会社、株式会社レゾナック・テクノサービス、
株式会社レゾナック・オートモーティブプロダクツ、
株式会社レゾナック・アブライドカーボン、株式会社HKSP

茨城県経営者協会 事業・研修スケジュール(10月以降)

※下記以外の研修は決まり次第、HPにアップします

※各種研修では、他社との意見・情報交換の場もあり、大変好評頂いております。

※HP (https://www.ikk.or.jp) では、下記以外の事業もご案内しております。

| 分類 | 研修名 | 対象 | 内 容 | 会員参加費(※) | 開催月日(会場) |
|--------|--|--------------------------|---|--|--|
| 階層・分野別 | 第2期 年末調整・税務会計セミナー(2講同日開催) | 経営管理者・ 経理担当者 | 「第1講:年末調整や源泉徴収 適切に処理するためには?、第2講:税務会計の基礎知識 財務諸表、インボイス制度について」 講師: 税理法人コンパス・ロイヤーズCEO 井野武士氏 【内容】 第1講は、年末調整の基礎知識と改正点、年末調整後の手続きと実務のポイントについて、第2講は簿記・財務諸表・電子帳簿保存法・消費税・インボイス制度の基礎知識から、新制度への対応について学びます。 | 全2講割引 7,000円 (14,000円) 1講のみ受講 4,000円 (8,000円) | 10/3(火) 第1講 9:30~12:30 第2講 13:30~16:30 (水戸市民会館) |
| | 若手社員研修 | 若手社員(入 社3~5年目程 度) | 「主体性の発揮」 講師: インソース専任講師 加藤晶子氏 【内容】 今までの仕事を振り返り、自分自身の現在地の客観的な理解を促します。更に社会人として会社内での立場や役割を認識し、主体性を発揮する上で必要な判断基準や具体的方法について解説頂きます。 | 9,000円 (27,000円) | 10/17(火) 9:00~17:00 (ホテルクリスタル パレス) |
| ビジネス交流 | 特別講演会・交流会 ※懇親会併設 | 代表者・経営 幹部ほか | 「ストレス社会における心の持ちよう~仕事ストレスを減らす心の整え方~」 講師: 佛心宗大叢寺福蔵寺住職 大愚元勝氏 【内容】 「現代の悩みの特徴として、昔から人間関係や金銭問題等はまだ変わらぬが、確実に言えるのは“他人と自分を比べること”によって生じるケースが殆ど」、現代社会において常に付きまとう“ストレス”と上手く付き合う方法、仕事におけるストレスを減らす心の整え方についてお話を伺います。 | 【会員限定】 参加費無料 懇親会ご参加 の場合7,000円 /名 | 10/25(水) 15:00~19:00 (鹿島セントラルル ホテル) |
| | 茨城経協ビジネス交流会 2023 ※懇親会併設 | 代表者・経営 幹部 | 「Chat GPTがビジネスにもたらす影響とは」 講師: 元富士通副社長、元富士通総研会長 伊東千秋氏 【内容】 対話型AI「Chat GPT」登場により、仕事の在り方が大きく変わると言われています。仕事の効率を上げるだけでなく、既存業務がなくなるケースも想定されるなど、その影響についてお話しします。 | 【会員限定】 参加費無料 懇親会ご参加 の場合7,000円 /名 | 11/8(水) 15:00~18:30 (三の丸ホテル) |
| ISO | 第22期 ISO9001内部監査員養成研修会 【2日間コース・グループワークあり】 | 環境・品質管理 部門責任者 &担当者 | 「ISO9001規格の内部監査員を養成する2日間研修」 講師: 品質保証総合研究所(JQAI)ISO主任審査員 ISO9001主任審査員 山本統之氏 【内容】 (1日目)・ガイダンス、規格の解説、規格の理解度チェック、内部監査とその技法について、不適合判定力チェック、宿題(チェックリストの作成について)の説明 (2日目)・ロールプレイング(監査の模擬訓練: チームミーティング、チェックリストの作成、オープニングミーティング、証拠の収集、クローズングミーティング、講評) ・修了テスト(理解度チェック)、総評、修了書授与 | 20,000円 (45,000円) | 【ISO9001】 ①11/9~11/10 ②12/7~12/8 時間は何れも 9:30~17:00 (茨城県産業会館) |
| 視察会 | 企業視察会 | 経営者・管理 者 | 「日本原子力発電・東海第二発電所~新規制基準に基づく安全性向上対策の“いま”~」 【内容】 東海第二発電所では新規制基準適合に向け、安全性向上対策工事を実施しており、今しか見れない現場、地域企業が知るべき安全対策を見学、知見を広げる契機とします。 | 【会員限定】 参加費無料 | 10/27(金) 13:15~16:30 |
| | 教育機関見学会 | 経営者・管理 者 | 「茗溪学園中学校高等学校・訪問見学会」 【内容】 今の若者がどのような中高教育を受け、どのようなマインドを身につけているのか学ぶべく、特色ある教育方針を打ち立てておられる茗溪学園中学校高等学校にお伺いし、中高教育の現場を学びます。 | 【会員限定】 参加費無料 | 11/10(金) 13:40~15:40 |
| | 視察会 ※懇親会併設 | 経営者・管理 者 | 「県内企業のESGとSDGsの取り組みに学ぶ」 【内容】 御諸岡様を訪問し、Environment(環境)分野【太陽光発電を行い再生利用可能エネルギーの利用促進を図る】、Social(社会)分野【社員の健康増進を図るため「健康経営有料法人」認定を目指す】、Governance(社内統制)分野【「リスク管理・コンプライアンス委員会」を設立する】での具体的な取り組みと、同社が取り組むSDGsについてお話を伺います。 | 【会員限定】 参加費無料 懇親会ご参加 の場合7,000円 /名 | 11/28(火) 13:30~19:30 |
| 採用 | 令和5年度 第2回産学懇談会 | 人事・採用担 当 | 「県内4地区(県北・県央・県西・県東)の高校進路指導教員との意見・情報交換会」※県南は日程調整中 【内容】 企業採用担当者と地元高校の進路指導の先生方との意見・情報交換をメインに開催。早期離職や昨今の職業観などについて意見交換を実施します。 | 【会員限定】 参加費無料 | 11/14(県北)・ 11/22(県央)・ 11/24(県西)・ 11/29(県東) ※県南は調整中 上記何れも 13:30~15:50 |

※ 会員参加費下の () は、会員以外の企業様の1名あたりの参加費です。

無料経営相談(士業ネットワーク)のご案内

当会では、会員士業(税理士・公認会計士8名、社会保険労務士15名、司法書士10名、行政書士4名、弁理士1名)のご協力のもと、会員の皆様が事業を推進していく上での様々な課題やニーズ等が発生した際、お気軽に専門家である士業に相談できる「士業ネットワーク」を立ち上げております。

日頃の事業推進の際のお悩みごとに対応頂ける専門家による相談体制が整っておりますので、是非ご活用下さい。

例えば

- 財務書類作成、法人税、相続税等の会計業務・税務に係るご相談
- 経営改善・事業承継支援・働き方改革等の経営コンサルティングについてのご相談
- 新型コロナウイルス関連をはじめとした各種助成金のご活用、申請方法に関するご相談
- 新型コロナウイルス対応も含む従業員の休業や賃金制度の整備、人事制度、就業規則の見直し、ハラスメント対応等を始めとした各種労務管理面のご相談
- テレワーク導入等労務のIT化に伴う就業規則の見直し
- 勤怠システム導入・クラウド化、テレワーク化等の業務IT化の支援
- 営業許認可の取得・申請等に関するご相談
- 行政関係手続きの電子申請のご支援又は代行に関するご相談
- 外国人労働者の在留資格取得・帰化申請等手続きに関するご相談
- 土地の売買や役員変更、株式発行等の不動産・商業登記に係るご相談
- 民事信託を活用した事業承継・財産承継に関するご相談
- 特許・商標等の取得に係るご相談 etc

ご相談は初回無料となります。当会士業会員の方々へのご相談の取り継ぎを行ってまいります。つきましては、お悩み事がございましたら、事務局宛にお気軽にお問い合わせ下さい。

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 茨城県経営者協会 事務局(黒澤・澤畑)

TEL : 029-221-5301

FAX : 029-224-1109

E-MAIL : kurosawa@ikk.or.jp